

目次

はじめに

目次

I. 研究の概要	
1. 研究の背景と目的	1
2. 地域の課題と研究の概要	1
3. 報告書の構成	4
4. 研究体制	4
II. インクルーシブ教育システムにおける合理的配慮及び基礎的環境整備の現状と課題	
1. 合理的配慮と基礎的環境整備について	6
(1) 日本における合理的配慮に関する法的な定義	6
(2) 学校における合理的配慮の提供について	7
(3) 障害のある子どものための合理的配慮の具体例	8
(4) 基礎的環境整備と合理的配慮、個別の配慮の関係性と 本研究における「その定義について」	10
2. 地域における合理的配慮及び基礎的環境整備の現状と課題	14
(1) 小・中学校の合理的配慮及び基礎的環境整備に関する現状と課題	14
(2) 小・中学校の合理的配慮及び基礎的環境整備に関する研修ニーズ ーインタビュー調査による小・中学校の合理的配慮・基礎的環境整備 の現状と校内研修に関わるニーズー	18
III. インクルD Bの事例から見た合理的配慮	23
IV. インクルD Bを活用した合理的配慮を理解するための研修資料の検討	44
V. 基礎的環境整備体制の充実に関する取組 特別支援教育の視点を取り入れた授業づくりの普及（富士見市）	64
VI. 基礎的環境整備体制の充実に関する取組 2 地域の基礎的環境整備の構築（御嵩町）	95
VII. 基礎的環境整備体制の充実に関する取組 3 通常の学級における特別な支援を必要とする児童生徒の児童理解の充実（清水町）	110
VIII. 合理的配慮の検討プロセスに関する取組 特別支援学級における交流及び共同学習に関する合理的配慮の充実に関する研究 （和歌山県）	200
IX. 全体考察	245